

1. 事業の位置付け

事務事業名	青少年国際交流事業		
事業担当	健康・こども部 青少年課		
予算科目	01-030105-050000	事業種類	○ ハード      ● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	03	③ <交流> ひと・文化の活発な交流が広がる環境をつくる	
	02	2 地域の文化をお互いに理解し、活発な交流を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市内在住の中学生、高校生	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他】 【協働： 国際交流協会、派遣団0B・0G】		
目的・目標		事業の概要	
姉妹都市との交流を通じ、両市の青少年が相互理解を深め、両市青少年及び参加青少年同士が活発な交流活動を展開しています。		青少年育成及び青少年活動の促進ため、姉妹都市ローレンス市との青少年交流の機会を提供し、両市における相互理解と国際親善を推進します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	交流会開催回数						単位	回
	説明・算定式	派遣団修了者で構成される青少年団体が、自発的に企画・実行又は参加したイベントなどの回数							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			4	4	4			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	青少年団体加入率						単位	%
	説明・算定式	派遣団修了者で構成される青少年団体へ加入した派遣青少年の割合							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			100	100	100			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
ローレンス市訪問団の受入により、市民団体・青少年団体・学校などを介した活発な市民交流が展開され、また、ローレンス市へ本市青少年を派遣したことで、国際感覚を有する青少年の育成と青少年活動が活性化され、ひと・文化の活発な交流が広がる環境づくりに寄与できた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	派遣に関しては、毎年募集人員を上回る応募があり、一方外国青少年の受入れについても、市民及び市民団体、学校などから交流希望に関するニーズが高い。姉妹都市提携からしても、市の関与は不可欠である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	事業継続による派遣団修了者の増加や、受入時における各種交流機会の提供が、青少年指導者層の拡大や青少年活動の活性化に寄与するものになっており、青少年健全育成を実現する手段として有効である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	受益者負担を実費の3分の1負担としているが、現実には昨今の原油価格の高騰で、市費負担額が拡大している。負担金の値上げや国外航空業者を利用するなどの方策が考えられる。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	より一層市民の満足度を高めるためには、交流の裾野を広げていくことが必要であり、国際交流協会など市民ボランティアを更に活用していくことで、地域文化の向上や事業効率向上につながる可能性がある。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	

#### 今後に向けた課題の分析

海外派遣の目的に、指導者の役割が果たせる青少年の育成や青少年活動の活性化があるが、派遣団修了者で構成された青少年団体の活動は最近やや停滞気味にある。一人でも多くの修了者に派遣後も継続して青少年活動に取り組んでもらえるよう、一層の活動の場を提供するとともに、青少年リーダーとしての活躍できる環境の整備や仕組みづくりが求められる。

### 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				交流会の開催	交流会の開催	交流会の開催		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	402	466	466	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	1,800	1,800	1,800	0	0
	一般財源	0	0	5,254	5,625	5,731	0	0
事業費 (A)		0	0	7,456	7,891	7,997	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	93.23				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.85	0.85	0.85	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	7,133	7,133	7,133	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	14,589	15,024	15,130	0	0

### 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 燃料費高騰の課題はあるが、国際交流や海外派遣に対する市民ニーズは高く、また、ローレンス市側からも強い交流希望があるため。	
平成21年度取組方針	
派遣団員の派遣後の青少年活動への積極的な参画を図るため、募集時における海外派遣研修の主旨を、応募者に十分理解してもらえよう、PRを工夫する必要がある。	
課長コメント	青少年の姉妹都市への派遣は、ローレンス市に行ったことで事業が終了するのではないことを参加者及びその保護者に理解してもらい、帰国後の活動がしやすいようにサポートする必要がある。事業は、原油価格の上昇により厳しいものはあるが、工夫をして現状規模で継続していく。